

大阪港湾局が「不存在」だったメールを公開

I・R考慮外 疑惑さらさら

大阪湾の埋め立て地、夢洲(ゆめしま)のカジノを核とする統合型リゾート(I・R)の建設用地の不動産鑑定評価や賃料算定を巡り、大阪港湾局が14日、情報公開請求や市議会に対して「不存在」と説明してきた198通のメールを公開しました。今月3日に、存在

することが判明したと発表していたものです。I・Rはカジノを中心に、高層ホテルや国際会議場、展示場、イベント会場などが一体となった施設です。

大阪港湾局が14日、情報公開請求や市議会に対して「不存在」と説明してきた198通のメールを公開しました。今月3日に、存在

て鑑定。このためカジノ事業者が支払う賃料は、正當に評価された場合と比べて年15億円、35年の事業期間で500億円超も低いとの試算もあります。

これまで大阪市や港湾局は、I・Rは国内に実績がないので鑑定は困難だとい

鑑定業者の意見を踏まえ、

案への記入を求める文書を送信しています。翌日、1社(財団法人日本不動産研究所近畿支社)が鑑定評価で「I・Rを考慮外」とする条件を付けて回答。港湾局は「I・Rを考慮外」などの条件を加えて修正した文書を他の3社に送り直しました。

同日17日に回答した1社(有限会社arec)は、「I・Rを考慮外」の条件に対して、「想定上の条件(依頼目的との関係から考慮外とする)」と書き添えてい

同月17日に回答した1社(有限会社arec)は、「I・Rを考慮外」の条件に対して、「想定上の条件(依頼目的との関係から考慮外とする)」と書き添えてい

同日17日に回答した1社(有限会社arec)は、「I・Rを考慮外」の条件に対して、「想定上の条件(依頼目的との関係から考慮外とする)」と書き添えてい

同日17日に回答した1社(有限会社arec)は、「I・Rを考慮外」の条件に対して、「想定上の条件(依頼目的との関係から考慮外とする)」と書き添えてい

同日17日に回答した1社(有限会社arec)は、「I・Rを考慮外」の条件に対して、「想定上の条件(依頼目的との関係から考慮外とする)」と書き添えてい

と指摘していました。

従来の答弁を繰り返すが…

6日の大阪市議会建設港湾委員会で日本共産党の井上浩議員は、3月14日の指摘に対し、いまだ市からの見解が示されていないと追及。港湾局は「I・Rを考慮外」として正式決定したのは10月中旬」と、従来の答弁を繰り返しました。

これに井上氏は、「疑惑まみれのカジノ・I・Rはきっぱりやめるべき」と主張。今回のメール公開で、疑惑は深まるばかりです。

これに井上氏は、「疑惑まみれのカジノ・I・Rはきっぱりやめるべき」と主張。今回のメール公開で、疑惑は深まるばかりです。